

コロナ禍における サポート事業展開事例

福島県県南地方振興局

伝統文化をオンラインで継承！

白河“オンライン”だるま市開催事業（白河だるま事業協同組合）

◇事業概要

白河市の一大イベントである「白河だるま市」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、伝統を途切れさせないため、新たにオンライン上でだるま市を展開する。

◇ここがポイント！

○Youtubeに専用チャンネルを開設し、ライブ配信を実施！

- ・現地に足を運ばずとも白河だるま市の魅力を味わえるコンテンツの提供！
- ・だるま市や地域をテーマとしたトークセッションの開催！
- ・「1時間内にだるまの写真SNSに投稿した人数」の世界記録に挑戦！（Facebook特設ページ）
- ・エスパル郡山店や福島県観光物産館などのリアル店舗にてオンラインだるま市を同時配信！
オンラインとリアルでの認知拡大！

⇒ オンラインならではの魅力あるコンテンツを提供することで、今まで白河だるま市を訪れたことが無かった新しい層へ魅力を発信！！

○ECサイトを構築！

- ・オンライン限定の白河だるまの販売！
- ・白河地域で手に入れることができる特産品を販売！

⇒ 白河だるま市を訪れたときに購入できる商品をPR！白河の特産品を継続的に発信！！

マルシェをドライブスルー形式で開催！

ドライブスルー白河マルシェ（公益財団法人白河観光物産協会）

◇事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響による休業などで需要が落ち込んだ事業者を応援するため、地域生産者とともに協力し選りすぐりの食材を消費者に安心・安全な環境で提供する。

◇ここがポイント！

○ドライブスルー白河マルシェの開催！

- ・接触を極力なくした安心・安全な販売！
- ・新しい生活様式を取り入れたイベント実施のチャレンジ！
- ・折り込み広告を入れ、事前申込制とした！
- ・事前申込制を取ることで、仕入れのロスをなくした！

⇒ 感染リスクを回避しながら新しい販売スタイル【ドライブスルー方式】を導入！！

○SNSを活用した「料理コンテスト」の実施！

- ・地元の食材を使用した「健康になってコロナに打ち勝つ」というテーマの料理コンテストをSNS上で展開！

⇒ withコロナ時代にマッチしたキャンペーンイベントの開催！！

直前の中止にも、諦めずに次の一手を！

翔んで、白河の関（青空バル実行委員会）

◇事業概要

福島県県南地域の日本酒をはじめとする食文化や温泉、自然など、多くの観光資源を広くPRし、新たな人の流れを創出することを目的にイベントや交流会を開催する。

◇ここがポイント！

当初予定していた大規模イベント「青空バル」が直前で中止に。

○「ミニ青空バル」の開催！

- ・規模を縮小し、回数を増やした形（全4回）でイベントを実施！
- ・まるごと西郷館企画事業との連携強化！
- ・遠方の方へは、特産品セットを送付！
送料を負担する代わりに感想を返信してもらい、感想をもとに小冊子を作成

⇒ 規模感を変えてイベント複数回開催！ 需要が増したお取り寄せ特産品への展開！

○勉強会のオンライン化！

- ・酒造での勉強会をリアルからオンラインへ変更！

⇒ オンラインに詳しい事業者の協力を得て酒造見学をオンラインで開催！